

鍼治療の起源・現在・これから

ボディメンテナンスの新しいツール



一般社団法人DSPC

経穴の起源は、石器時代にまでさかのぼる。

当時、人類はまだ動物の種から分かれたばかりで、物事を認識したり理解したりする能力も

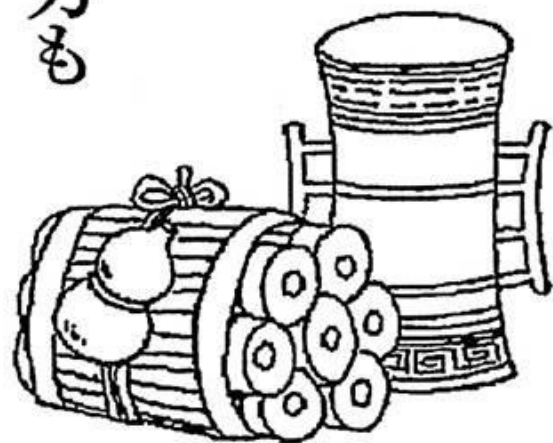
まだ幼稚だった。

生存する環境も劣悪で、

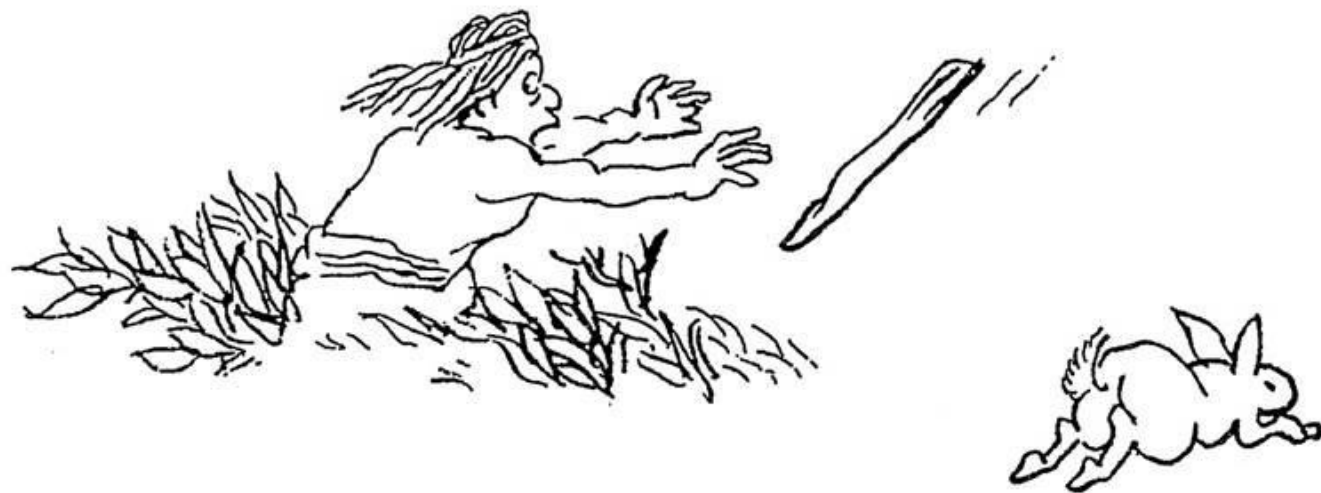
医療や保健は

まだまだ

先の話だった。



そんなあるとき、狩の途中でとがった石や植物のトゲで体表を傷付けてしまったり、出血したりすることで、本来あった痛みが偶然楽になるといった現象がたびたび起こった。



経験療法

ここを偶然傷つけたら、ある痛みが治った

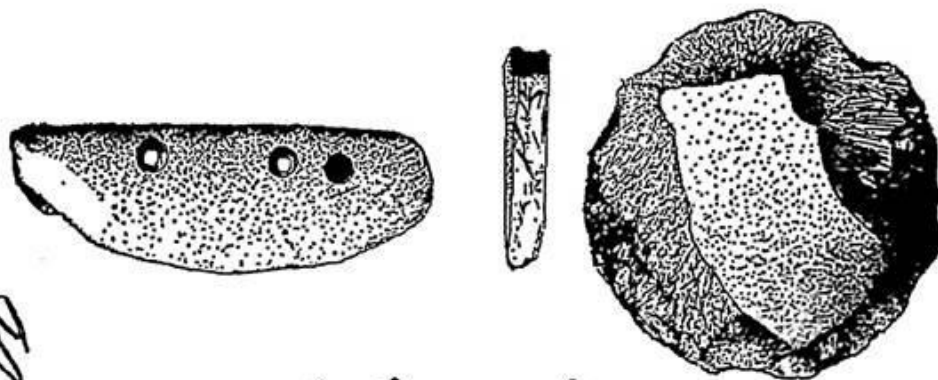
ここを温めたらお腹の痛みが無くなった

同じ症状の時そこに同じことをすれば良い
そんなことから「ツボ」が出来た

同じような現象を何度も経験することで、この現象に人々が関心を持つようになった。そこで石のかたまりなどを使って体表を刺激すると痛みが軽減することを徐々に覚えていったんじゃ。

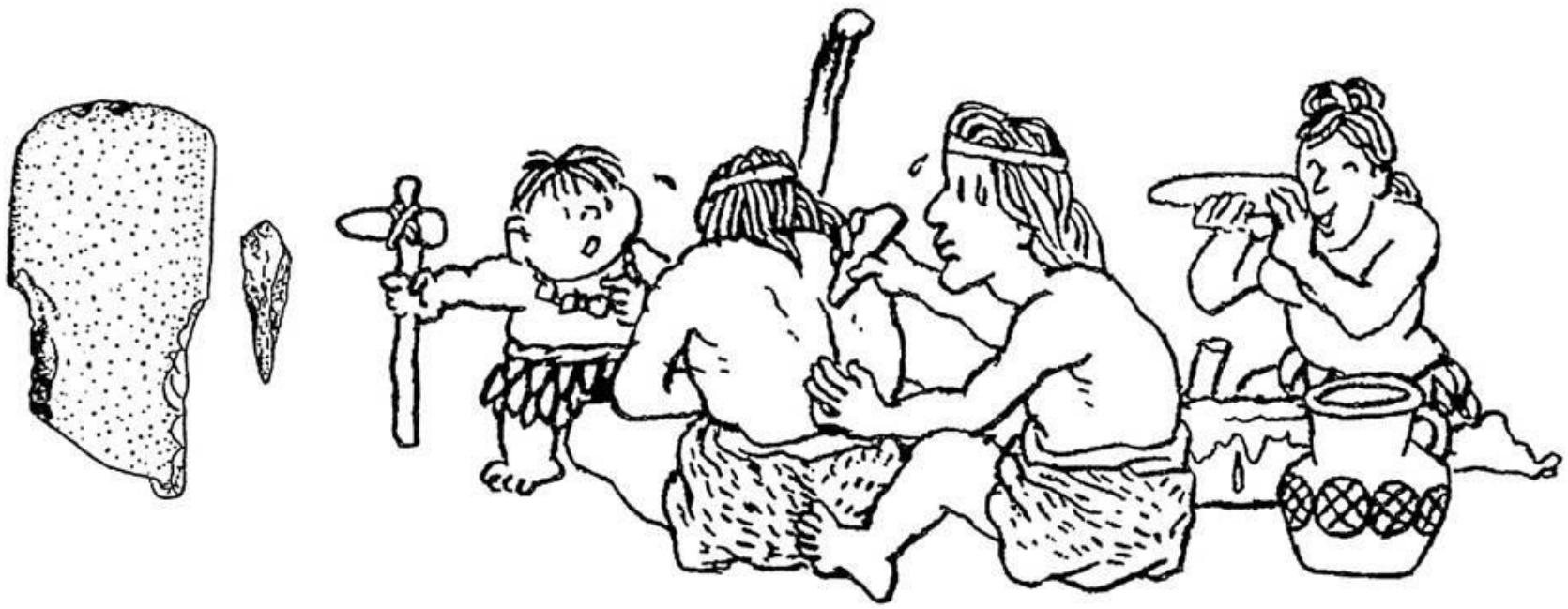


砥石は刺鍼治療用に使うだけでなく、感染によって化膿した局所を切開し排膿させるなど外科疾患にも積極的に使われるようになった。これらの道具は「鍼石」、「^{ざんせき}鑿石」などと呼ばれておる。



砥石

新石器時代に入ると、生産能力が向上し人々は研磨技術を身に付けるようになり、かなり精巧な刺鍼治療用の石器を作り始める。それが「^{へんせき}砭石」と呼ばれる鍼具の誕生じゃ。

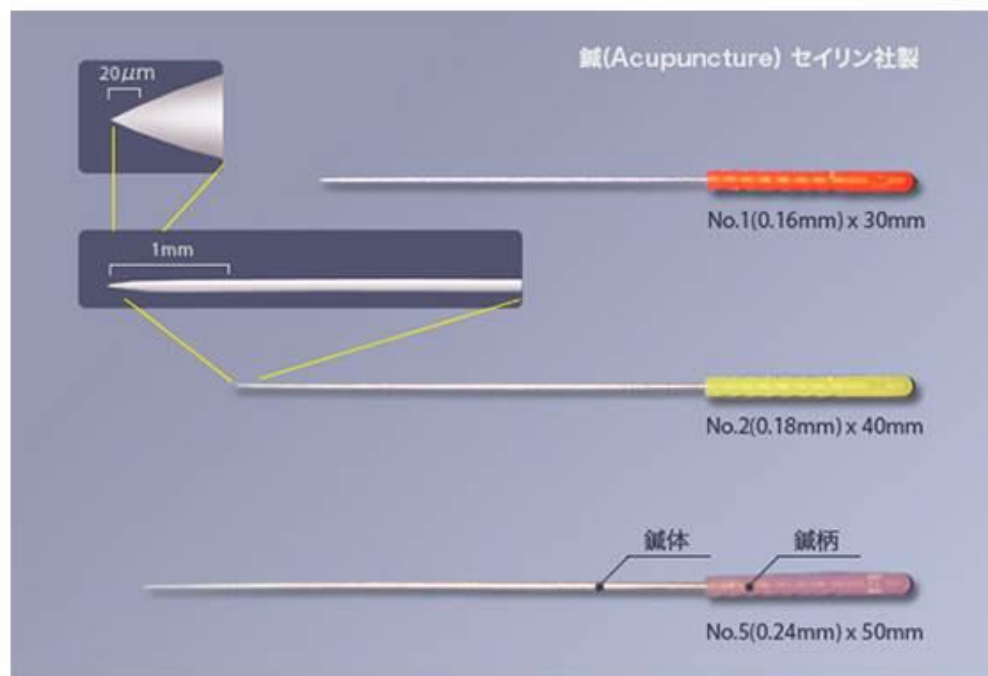


製作技術の進歩に伴い、動物の骨、竹木、陶土などが使われるようになった。砥石に比べると細く加工しやすく、刺鍼道具に適していたからじゃ。このことは古典に多数記載されておる。

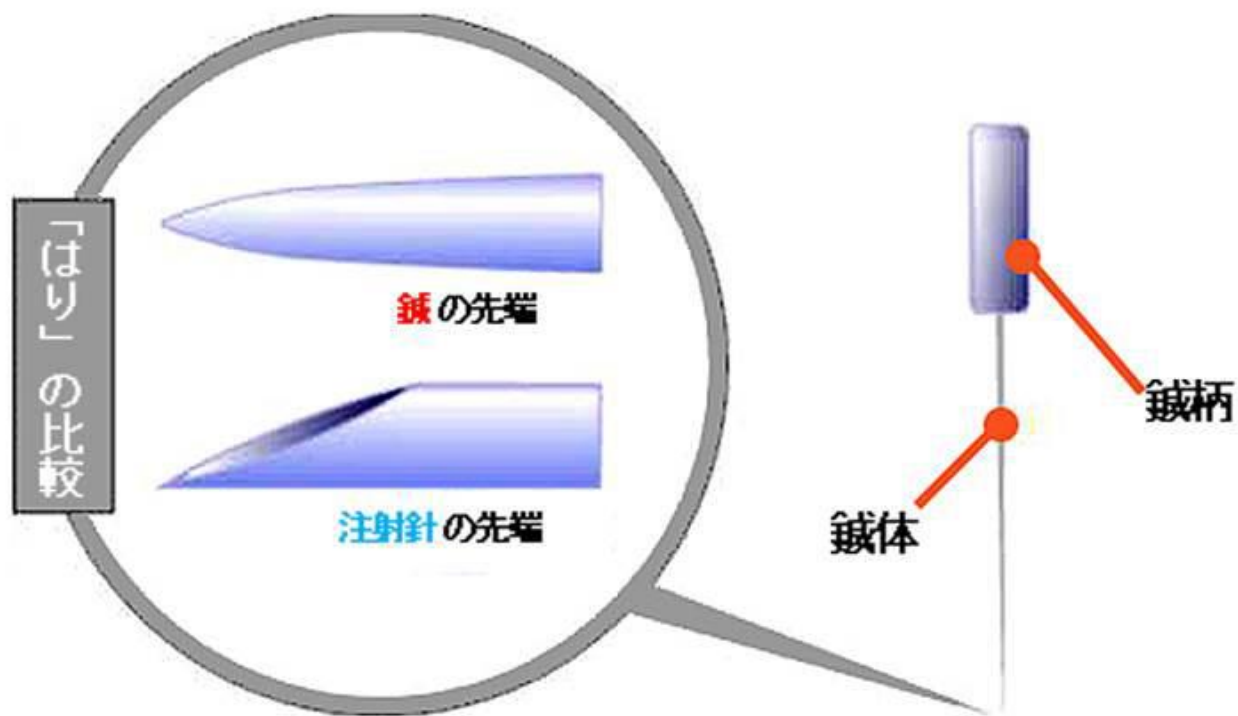


針と鍼の違い

- 針 ・ ・ ・ 穴のあいた針を意味する
- 鍼 ・ ・ ・ 「縫い針、薬ばり、病気を治す針」
- 箴 ・ ・ ・ 「戒め」
 - ①鍼師自らを戒め、患者さんに尽くす
 - ②気を調整しつつ、患者さんの悪しき生活習慣を改めさせる



鍼の先端



バイオネックス(置鍼)



東洋医学

- 我国では江戸時代にオランダを通じて西洋医学が伝来
- 西洋医学→蘭方
- 従来中国から伝えられてきた医学→漢方
- 最近では漢方という呼び名は、漢方薬(湯液療法)を指すようになった

五臓六腑の臓腑とは

五臓	肝	心	脾	肺	腎	心包
六腑	胆	小腸	胃	大腸	膀胱	三焦

【共通特性】

五臓・・・ 精気を内に蔵している実質器官

このため臓ともよばれ、生命活動の中枢

六腑・・・ 中空器官で、飲食物を受入れ、これを消化し次の器官に送る
水分吸収・配布・排泄に関与

人体の五行分類

五行	木	火	土	金	水
五臓	肝	心	脾	肺	腎
五腑	胆	小腸	胃	大腸	膀胱
五官	目	舌	口	鼻	耳
五主	筋	血脈	肌肉	皮毛	骨髓
五志	怒	喜	思	憂	恐

WHOも認めるツボ

- 2003年 日中韓をはじめとする9カ国参加
- 「経穴部位国際標準化公式会議」
- 2006年 361ヶ所のツボの位置が確立された
- ツボとは 正式には経穴
「経穴→くぼみ→ツボ」

経穴の定位法

取穴が正確に
できているかどうかは、
治療効果に直接影響する。

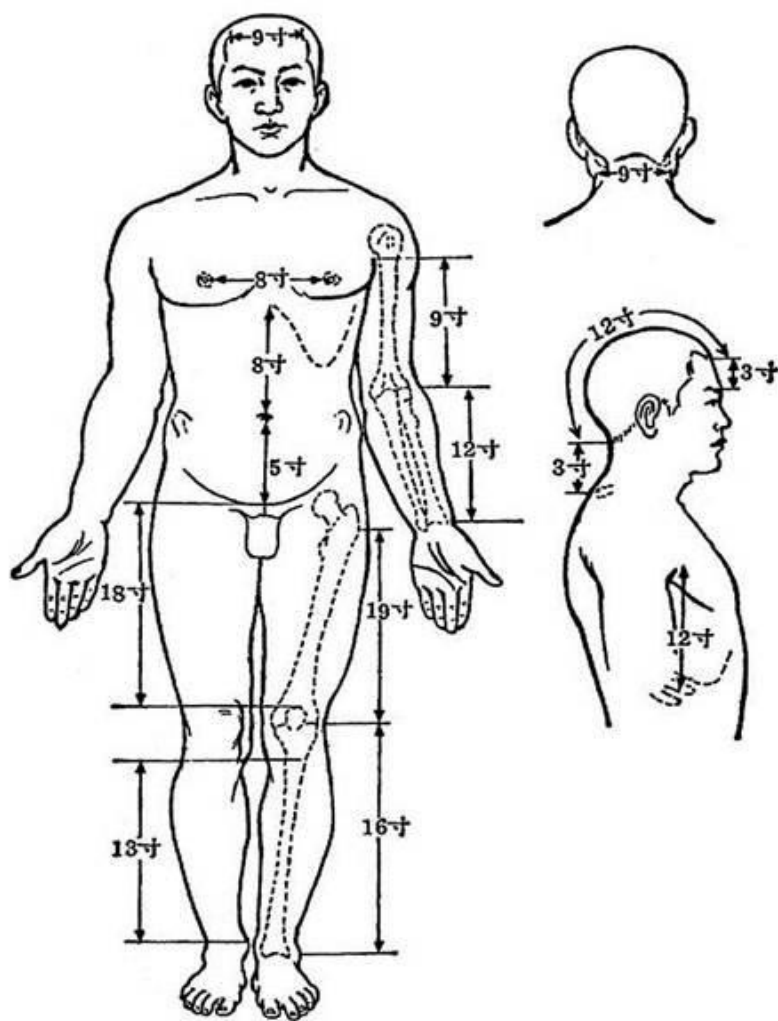
すなわち必ず一定の
方法に照らし合わせる
必要がある。

後に疾病の
状況を鑑み、
体表の様々な
目印や、屈伸などの
姿勢をつぶさに
観察するのである。

現在、一般的には
骨度分寸法、指寸法、
定位法がある。



1. 骨度分寸法：骨度分寸法とは人体の各部を骨の長さ、関節の距離を目安とし、一定の分寸に定めて等分した一等分を、1寸として取穴する方法じゃ。老若、男女、背の高さ、肥瘦などを問わず適応する。中医学でいう「同中に異あり、異中に同あり」の定量弁証の特徴をいっておる。



2. 指寸法：指寸法とは患者の手指の長さをもとに、経穴の位置を決める方法じゃ。測量的方法には3種類がある。

①中指同身寸：患者の中指を屈曲させて、できる横紋頭の距離を1寸として測る方法じゃ。四肢の陽経と背部の取穴の横寸に用いる。



中指同身寸

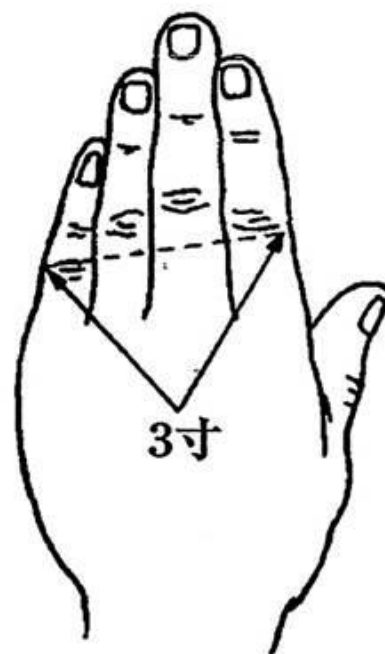
②母指同身寸：患者の母指を中節末節関節の幅を1寸として測る。四肢の取穴に用いる。



母指同身寸

③横指同身寸：別名を一扶法ともいい、患者の示指、中指、薬指、小指の四指を並べて、四横指を一扶とする。場所は近位指節関節を主とする。この四指の幅を測って3寸とした。四肢、腹部の取穴に用いる。

3寸を一扶と呼ぶんだね。



横指同身寸

診断の種類

●視覚・聴覚・嗅覚・触覚等の五感を活用
四診法

- ①望診(神技)…視覚を通して病態を診察
- ②聞診(聖技)…聴覚・嗅覚を通じて病態を診察
- ③問診(上技)…問いかけと応答により病態を診察
- ④切診(巧技)…指頭・指腹及び手掌の触覚を通じて病態を診察

「望んで知るを神となす」

舌 診

舌全体の色

白色(寒証)



白っぽい色。身体のエネルギー不足、陽虚の状態

正 常



淡紅色(ピンク)
正常な舌

鮮赤色(熱証)



赤みが強く、体内に熱がこもった状態

舌全体の形

気虚証



大きくポテッとしており横側に歯型がある。これはエネルギー不足を現し、特に消化器系の機能低下

正 常



適度な大きさや形
正常な舌

血虚証



小さく痩せ細っている
栄養不足状態

舌 診

舌苔の厚さ

湿熱証



苔が厚く、苔色が少し黄色っぽいのは、水分代謝が悪く、慢性化状態

正 常



薄く白っぽい苔
正常な苔

陰虚証



苔が少なく乾燥し列紋があるのは、陰虚、体液(水分)不足

おけつ証



舌尖、舌横に紫の斑点



舌裏の静脈が、紫色に怒張

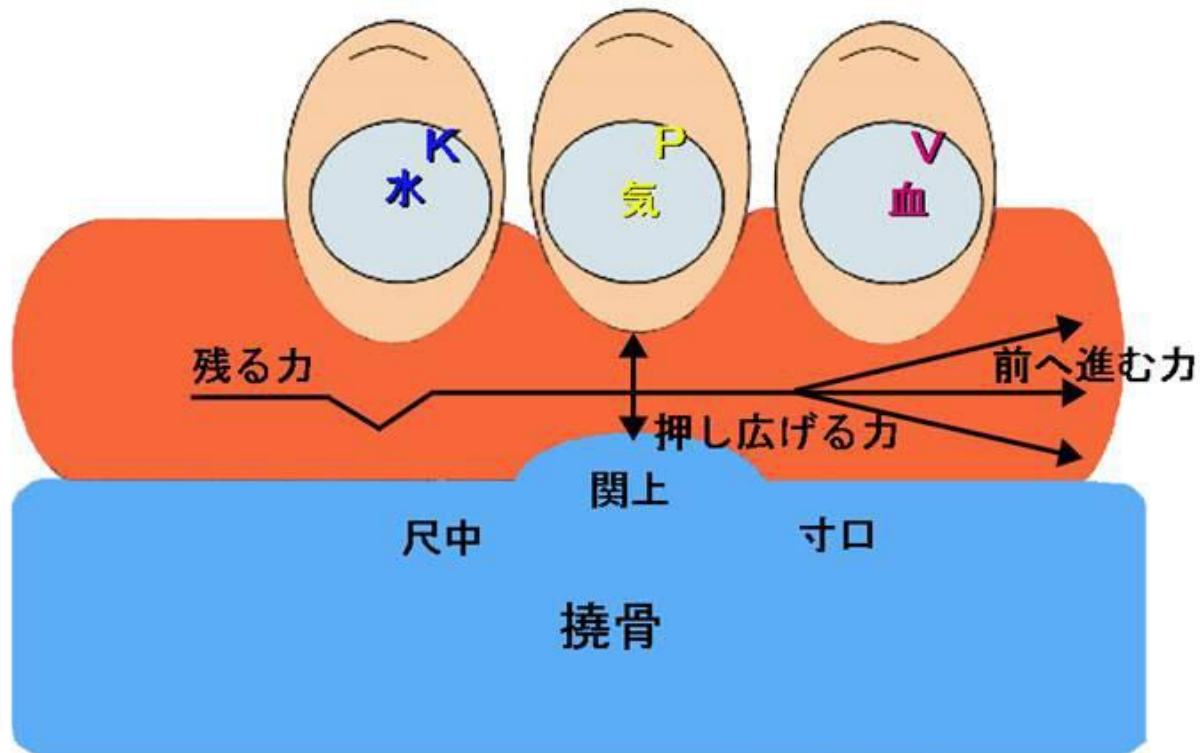


舌色が全体的に暗く、紫っぽい色をいている

脈診



脈診



強く押さえた時(沈めた時)

鍼灸は何故効くのですか？

[鍼灸の効果の研究]

各地にある研究所・医療機関・鍼灸大学・短期大学など



総合的に鍼灸刺激

自律神経系・内分泌系・免疫系に作用



結果

中枢性及び反射性の筋緊張の緩和

血液及びリンパ液循環の改善等の作用があり

生体の恒常性(病気を自然に回復させる作用)に働きかける

鍼の鎮痛効果

1. ゲートコントロール ……鍼刺激が脊髄において痛みを抑制
2. エンドルフィン ……鍼刺激がモルヒネ様物質の遊離を促し、痛みを抑制
3. 末梢神経の遮断効果 ……鍼刺激が末梢神経の痛みのインパルスを遮断
4. 経穴(ツボ)へ鍼刺激を行うことによって、痛覚閾値が上昇し鎮痛効果が得られる

鍼灸の適応＜WHO(世界保健機関)＞

- 神経系疾患
- 運動器系疾患
- 循環器系疾患
- 呼吸器系疾患
- 消化器系疾患
- 代謝内分泌系疾患
- 生殖泌尿器系疾患
- 婦人科系疾患
- 耳鼻咽喉科系疾患
- 眼科系疾患
- 小児科系疾患

耳鼻咽喉科系

- 耳鳴り
- 難聴
- メニエール氏病
- 鼻炎
- 中耳炎
- 蓄膿症(慢性副鼻腔炎)
- 咽喉頭炎
- へんとう炎
- 鼻出血

運動器系疾患

- 関節炎
- ◎リュウマチ
- ◎頸肩腕症候群
- ◎頸椎捻挫後遺症
- ◎五十肩
- 腱鞘炎
- ◎腰痛
- 外傷の後遺症（骨折、打撲、むちうち、捻挫）

耳鼻咽喉科の鍼治療の実際

- めまい(メニエール病等)
- 耳鳴り(耳鳴症・頭鳴)
- 難聴(突発性難聴等)
- 顔面神経麻痺(ラムゼイ・ハント症候群・ベル麻痺)
- 嗅覚障害・味覚障害(風邪の後・外傷等)
- 咽喉頭異常感症
- 随伴症状(肩凝り・うつ病・冷え・不眠等)

鍼治療の過誤と副作用

- a. 気胸 「自然気胸・外傷性気胸・医原性気胸等」
- b. 折鍼 「不良鍼・耐久力低下・体動・埋没鍼等」
- c. 皮膚反応 「組織損傷・毛細血管小動脈刺傷・アレルギー等」
- d. 出血・内出血
- e. 抜鍼困難（渋鍼） 「筋組織・繊維が絡む」
- f. 脳貧血（脳虚血） 「反射性脳動脈収縮・脳循環血液量↓」
- g. 遺感覚 「刺入時刺入後抜鍼後の痛みや違和感」
- h. その他 神経障害・感染・治療過誤・結節形成・埋没鍼等

衛生管理



治療



資格について

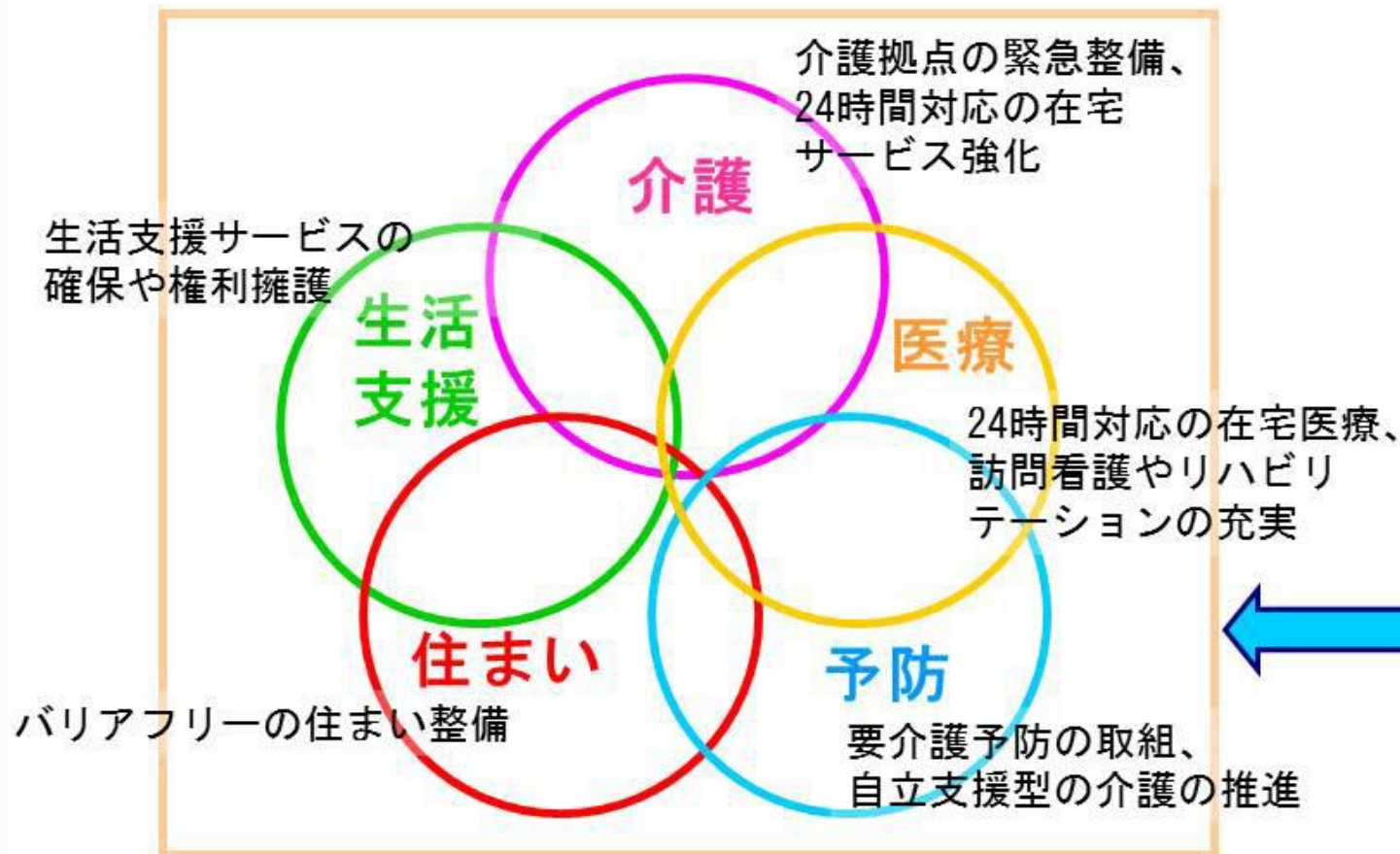
業種	国家資格	開業権
鍼師・灸師	○	○
按摩マッサージ指圧師	○	○
柔道整復師	○	○
理学療法士	○	×
整体師	×	?
カイロプラクティック	×	?

健康保険で受けられるもの

- ①神経痛… 例えば坐骨神経痛など
- ②リウマチ… 急性、慢性で各関節が腫れて痛むもの
- ③腰痛症… 慢性の腰痛、ギックリ腰など
- ④五十肩… 肩の関節が痛く、腕が挙げられないもの
- ⑤頸腕症候群… 頸から肩、腕にかけてシビレ痛むもの
- ⑥頸椎捻挫後遺症… 頸の外傷、むちうち症など

地域包括ケアシステム

下記5つの視点での取組みが、包括的かつ継続的に行われることが必要



鍼治療



日常生活圏(30分でかけつけられる圏域)

予防医学

「 ^み未 ^{びょう}病 ^ち治 」

「 未だ病まざるを治す 」

「健康寿命をのばす」とは、医療・介護を必要としない期間を長く保つことです。

鍼治療のように「代替医療」と呼ばれる療法は、現代医学の主流である西洋医学（保健医療）を否定するものではなく、「補うもの」であり、また、病気予防（予防医学）の役目を担っています。

